



鹿屋市総合防災訓練を実施



救援物資搬送訓練



月の輪工法



消火訓練



河川転落急流救助訓練

5月の台風2号により延期されていた鹿屋市総合防災訓練が、7月10日、吾平町下名の馬込橋下流で行われました。この訓練は、鹿屋市地域防災計画に基づき、大隅河川国道事務所、海上自衛隊、鹿屋警察署などの機関や下名東地区住民とも連携して実施され、約200人が参加しました。

当日は、鹿児島県防災航空センター防災航空隊によるヘリコプターを使用した孤立者救出訓練や、大隅肝属地区消防組合による河川転落急流救助訓練などが行われました。

消火訓練では、下名東地区の参加者が消火器による訓練に熱心に取り組み、また、鹿屋市消防団が月の輪工法など6種類の水防工法訓練を実践するなど、参加者は、災害に対する応急対策への理解を深め、水災害対策の強化を図りました。



孤立者救出訓練



各地区各団体がボランティア



7月11日、霧島ヶ丘公園で株式会社鹿児島電気サービス10人によるボランティア作業が行われました。



7月1日、新栄町さくら公園で、鹿屋・肝属造園建設業協会6社12人によるボランティア作業が行われました。



7月26日、中央公園及び城山公園で、鹿屋電工会会員11社13人によるボランティア作業が行われました。

7月17日、下祓川町樋渡橋から吾平町馬込橋までの肝属川流域で「第28回肝属川クリーン作戦」が行われました。当日は、周辺の町内会や各種団体など72団体、約1,500人が参加。肝属川沿いに落ちている空き缶などを拾い集め、約2.7トンのごみが回収されました。

また、同日、「市民総参加一斉清掃」も行われました。



7月15～17日、高須・浜田海岸をはじめとする市内の海岸で「錦江湾クリーンアップ作戦」が行われました。当日は、地元町内会と市内の5つの団体などから約250人が参加。約1トンのごみが回収されました。

